

実験名称	東洋製罐株式会社仕様31ft専用コンテナによる関東～関西間往復モーダルシフト実証実験							
実験概要	・31ftコンテナを使用し長距離トラック輸送を鉄道利用に転換							
申請者	荷主等	東洋製罐(株)			物流	日本通運(株)東京コンテナ支店 日本貨物鉄道(株)関東支社		
実験期間	H17年4月～H18年3月(1年間)							
輸送経路	現行	横浜・川崎 (トラック) 高槻・泉佐野						
	転換後	横浜・川崎 (トラック) 東京タ (鉄道) 大阪タ・梅田駅 (トラック) 高槻・泉佐野						
貨物	品目	缶、ペットボトル			貨物量	高槻行き：485トン 泉佐野行き：1,435トン 川崎行き：1,405トン 横浜行き：515トン		
C02 排出量	現行	344.8 t-C02/年	転換後	75.2 t-C02/年	削減量	269.6 t-C02/年	削減率	78.2%
補助金 申請額	3,200,000円							
施策効果	84.3 t-C02/百万円・年							
備考	往復							



→ 現行
 → 転換後